

佐野短期大学シラバス2013			
科目名 Subject Name		開講年次	開講学期
介護の基本Ⅲ Fundamentals of Care Ⅲ		1年	後期
曜日・時限		別途、時間割参照	
単位数	授業の形態	授業の性格	
2単位	講義	選択	(介護福祉士養成課程必修)
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目			
介護の基本Ⅰ・介護の基本Ⅱ			
同時に履修しておくことが望まれる科目			
介護福祉士養成課程必修科目			
担当者に関する情報			
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス
大熊 信成	福祉棟3F	火～金9:00～17:00 (授業時間を除く)	授業中に指示します
授業の概要			
「尊厳の保持」「自立支援」を理解するとともに、「介護を必要とする人」を「生活する人」として捉えるための学習である。一人ひとりの利用者の意向や生き方、生活習慣などを理解し、「その人がその人らしく生きることを支援する」とことは何かについて具体的に学んでいく。			
授業の到達目標			
①その人の「暮らし」「価値観」「意識」「生活様式」「習慣」などの多様性・複雑性を具体的に理解できるようにする。 ②高齢者及び障害のある人の生活の実際とその生活環境を具体的に理解できるようにする。 ③高齢者及び障害のある人への生活支援の必要性を具体的に理解できるようにする。 ④高齢者および障害者に提供される介護サービスの具体的な内容を説明することができるようにする。			
授業の方法			
基本的に講義形式とするがグループワークを随時取り入れていく。具体的かつ実践的に理解でき、総合的・客観的に対応できる能力と洞察力を養うことを目的とする。			
学習の成果			
①その人の「暮らし」「価値観」「意識」「生活様式」「習慣」などの多様性・複雑性を具体的に理解できる。 ②高齢者及び障害のある人の生活の実際とその生活環境を具体的に理解できる。 ③高齢者及び障害のある人への生活支援の必要性を具体的に理解できる。 ④高齢者および障害者に提供される介護サービスの具体的な内容を説明することができる。			
授業のスケジュールと内容			
第1回目	ガイダンス (授業のねらいと進め方・成績評価方法・授業中の留意点など)		
第2回目	その人らしさの理解①：生活史・生活習慣・生活様式 (生活文化) ・生活リズムなど		
第3回目	高齢者、障害者のためのサービスの種類と提供の場について		
第4回目	高齢者、障害者のためのサービスの種類と提供の場について (グループ討議)		
第5回目	多様性と複雑性の理解：価値観の多様性 (生活観など) ・役割意識・他者と社会とのつながりなど		
第6回目	高齢者や障害のある人たちの暮らしの実際と理解：家族の機能と役割・健康・生活など レポート「共感的理解とは」		

第7回目	介護サービスの意味とその特性について その人らしく生きることとは	
第8回目	介護サービスの歴史の変遷と時代背景、これからの課題	
第9回目	ＩＣＦの視点に基づくアセスメント①：介護におけるＩＣＦ考え方	
第10回目	ＩＣＦの視点に基づくアセスメント②：ＩＣＦの視点と観察の視点 レポート「ICFとICIDHの相違点」	
第11回目	生活環境の理解①：家族・地域・社会との結びつき 社会資源について	
第12回目	生活環境の理解②：施設におけるハード面とソフト面について	
第13回目	生活障害の理解と生活ニーズ①：生活障害とは・関係性の障害について	
第14回目	生活障害の理解と生活ニーズ②：ニーズとは何か・生活のニーズについて	
第15回目	まとめ 試験（総括）	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	20%	グループ討議、ロールプレイをおこない、積極的な参加態度を評価する。
レポート	20%	提示するテーマについて自分の言葉で述べる事ができる。序論、本論、結論と３部構成になっている。
調査報告書		
小テスト		
中間・学期末試験	60%	論述、選択記述式の定期試験を行い、評価する。論述は根拠に基づき自分の言葉で述べられていること。
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
介護福祉士養成講座第3巻「介護の基本Ⅰ」中央法規出版 他 授業中に指示し、資料を配布します。		
履修上の心得・ルール		
一部視聴覚教材を使用し、内容をレポートで確認する。口頭で述べたこともきちんとノートにとること。遅刻・早退・私語・居眠りは厳禁。		